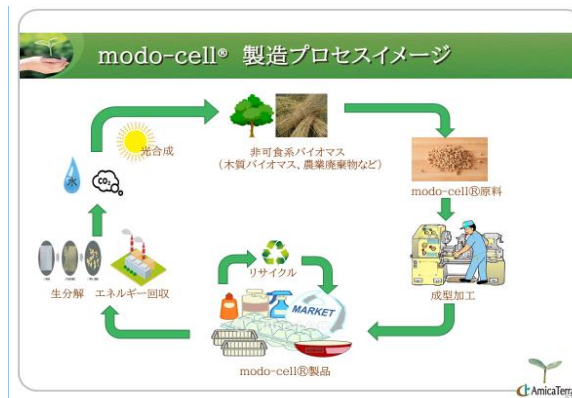


# 株式会社アミカテラくまもと益城工場

植物由来かつ生分解性のあるプラスチック代替素材で資源の最大利用と環境保全の両立

## 【取組み内容】

- ・ 弊社の「modo-cell®」は生分解性を持ち自然に戻せる素材です。
- ・ セルロース（植物繊維）を主原料とするプラスチック代替素材の開発・製造・販売を行い、循環型社会に貢献します。
- ・ 熊本県内の竹山（放置竹林）の整備から発生する竹を主原料とし地域課題の解決に貢献できます。
- ・ プラスチック製造機器をそのまま使え、電力軽減によるCO2削減することで地球規模での環境保全に貢献できます



## 評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	弊社製品「modo-cell®」の主原料は地球上に最も多く存在するセルロース（植物繊維）です。セルロースであればその多くが原料として適合するため枯渇の心配がありません。
包摂性	弊社製品「modo-cell®」は、食器・容器・カトラリー・ストローなど日常生活で身近なプラスチック製品をはじめ様々なプラスチック製品を代替することが可能です。
協働性	熊本産の竹を使用し水俣工場でもdo-cell®を製造して益城工場でもストローを製造して販売していますが、そのように多くのステーキホルダーを巻き込み食品・飲料メーカーの植物性残渣も活用を推進しています。
統合性	弊社製品「modo-cell®」はプラスチック代替素材として開発しました。マイクロプラスチックなども発生せず、海洋汚染に対しても持続的に抑制でき、かつ分解することで自然に戻せる地球にやさしい素材です
透明性	弊社の取組みに関しては、その活動意義をご評価いただきテレビや雑誌などの取材を通してメディアでの情報発信を行っております。また自社HPにおいても同様に情報公開を行っており、広く世の中に公表しています。

## 貢献するSDGsのゴール

